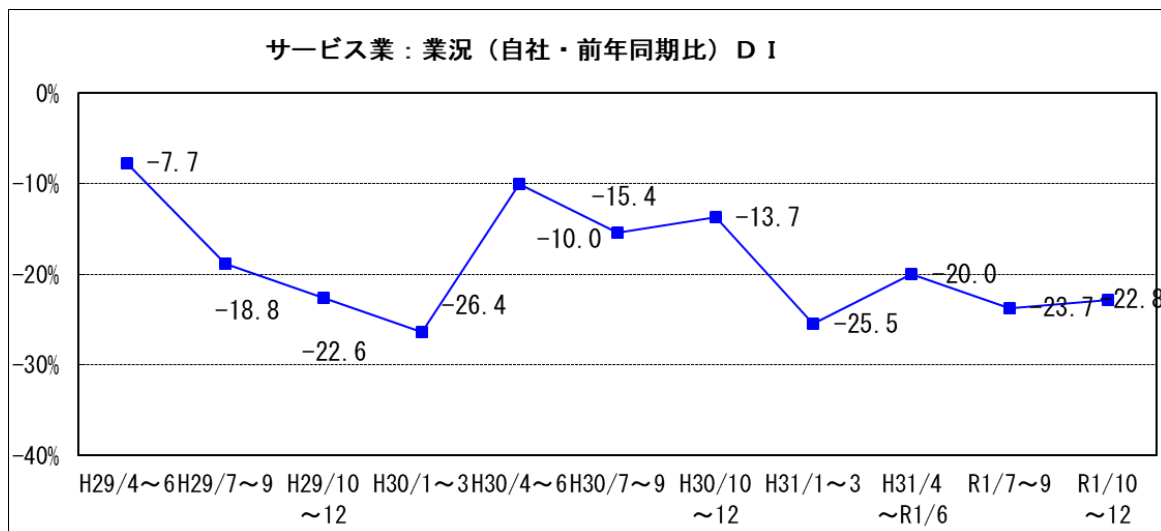


5. サービス業の動向

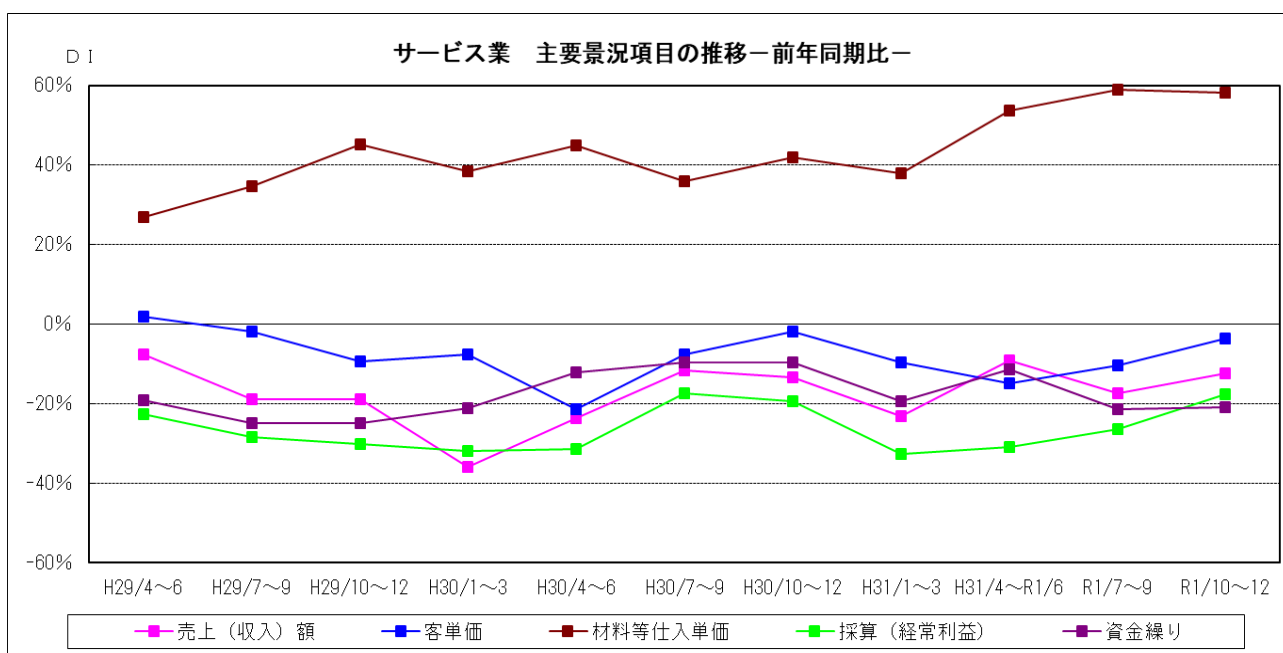
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、▲22.8。前期▲23.7からほぼ横ばいとなった。
来期見通しは▲14.5と改善の見込み。



サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

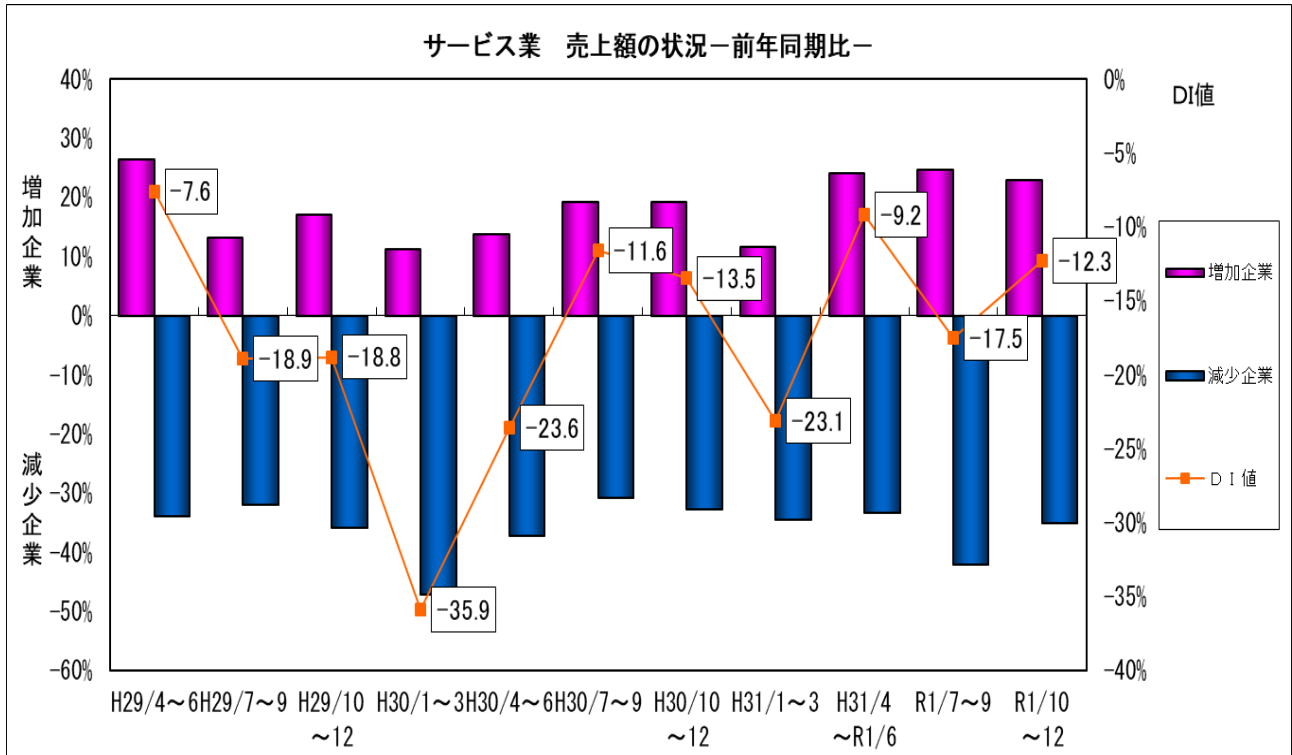
	前々期 (H31年4月 ~R1年6月)	前期(A) (R1年7月 ~9月)	今期(B) (R1年10月 ~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上(収入)額	▲9.2	▲17.5	▲12.3	5.2	0.0
客単価	▲14.8	▲10.5	▲3.6	6.9	5.3
材料等仕入単価	53.6	58.9	58.2	▲0.7	45.3
採算(経常利益)	▲30.9	▲26.3	▲17.6	8.7	▲18.2
資金繰り	▲11.5	▲21.4	▲21.0	0.4	▲17.8



(2) 主要項目の概況

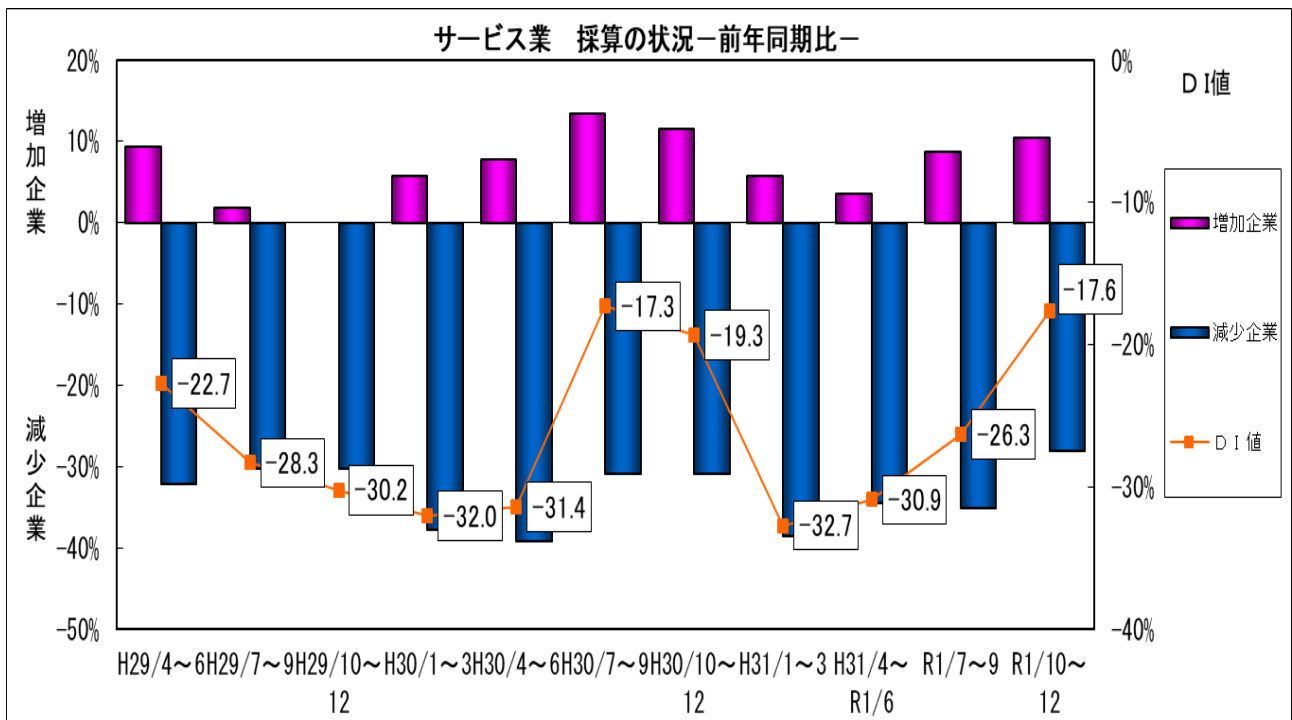
①売上（収入）額（前年同期比）

今期の売上（収入）額D I 値は、▲12.3。前期の▲17.5 から 5.2 ポイント改善した。
来期見通しは、0.0 とさらに改善の見通し。



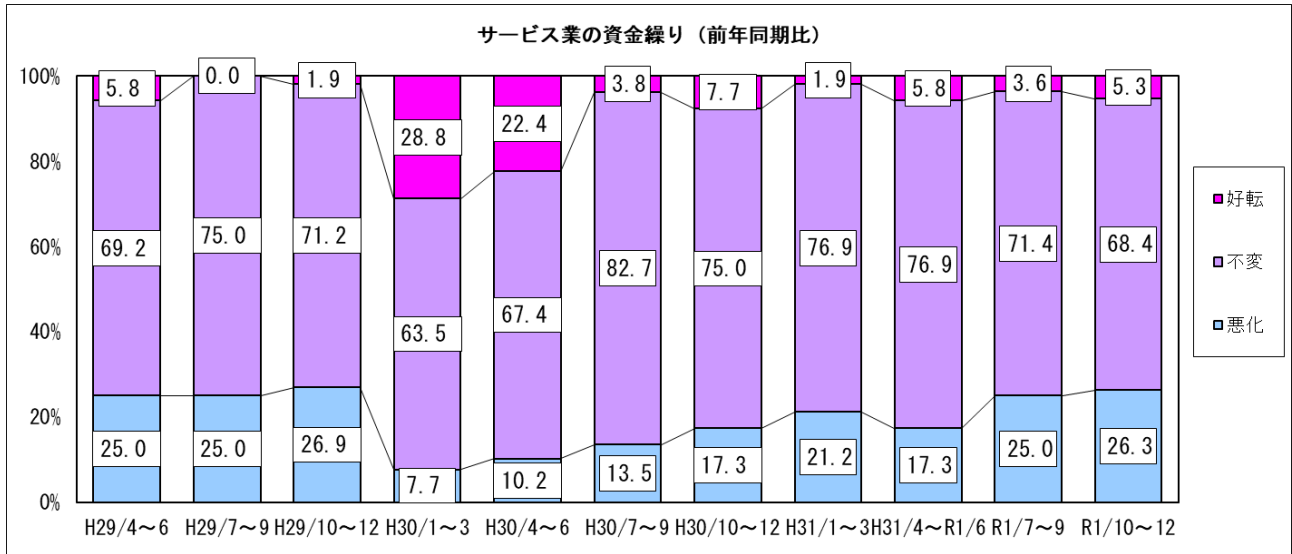
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、▲17.6。前期の▲26.3 より 8.7 ポイント上昇した。
来期見通しは、▲18.2 とほぼ横ばいの見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は、▲21.0。前期の▲21.4からほぼ横ばいとなった。
来期見通しは▲17.8とやや改善の見込み。

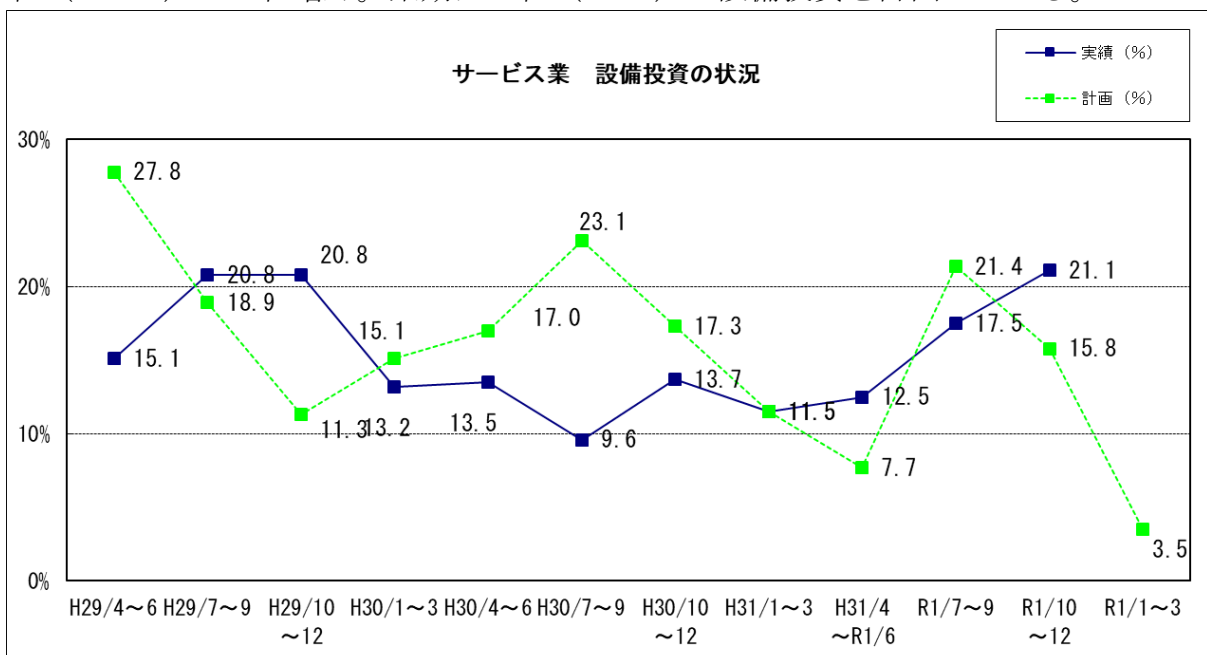


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	10	0	1	2	2	2	2	0	2	47
(%)	17.5	0.0	10.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	82.5
今期実施 (実数)	12	2	2	3	2	2	2	0	1	45
(%)	21.1	16.7	16.7	25.0	16.7	16.7	16.7	0.0	8.3	78.9
来期計画 (実数)	2	1	0	0	0	1	1	0	0	55
(%)	3.5	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	96.5

今期設備投資を実施した企業は12社（21.1%）。前期（令和元年7月～9月期）実施企業10社（17.5%）と2社増加。来期は2社（3.5%）が設備投資を計画している。

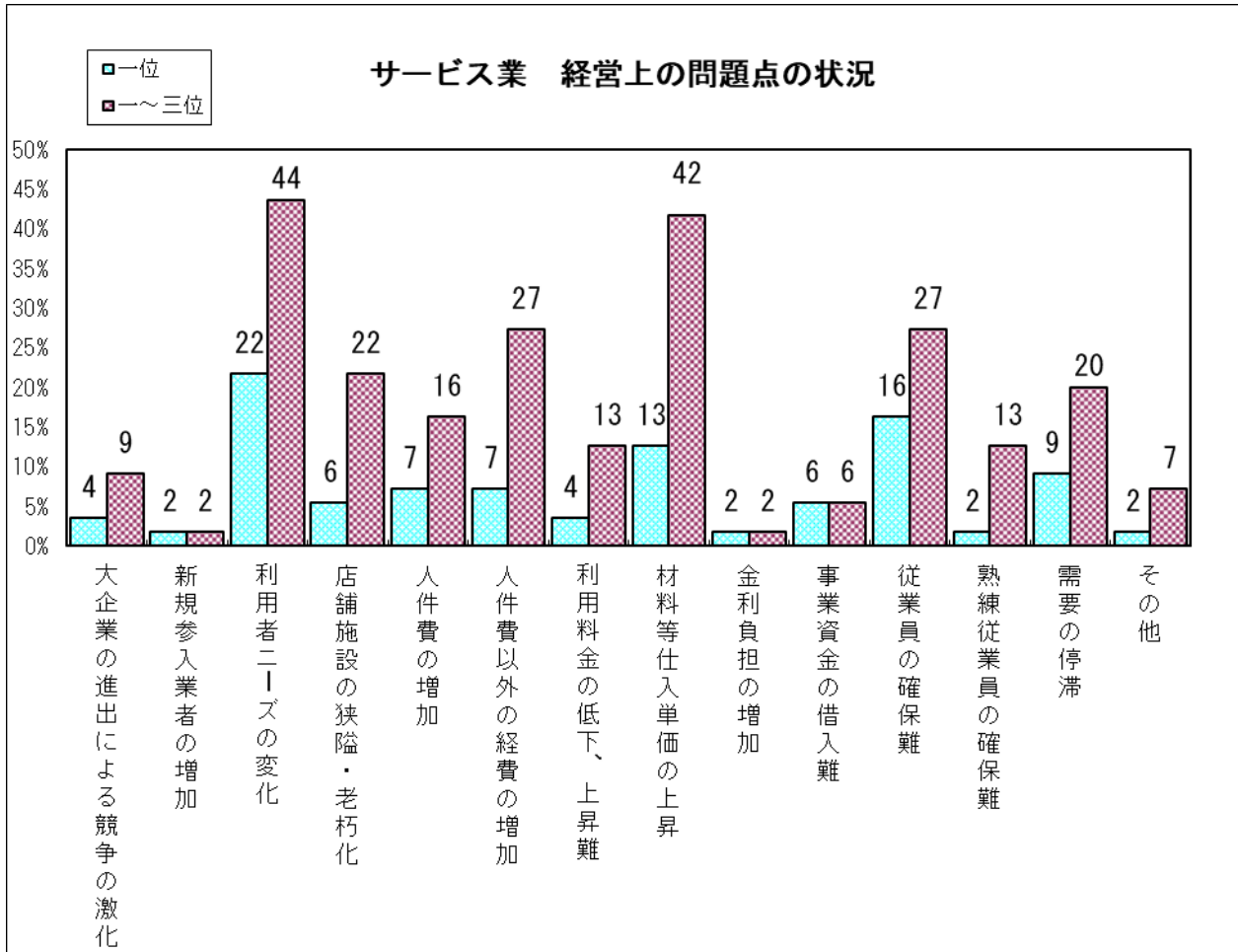


⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあがる項目は、

- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 34.6%→今期 43.6%)
- ・ 「店舗施設の狭隘・老朽化」 (前期 25.0%→今期 21.8%)
- ・ 「人件費以外の経費の増加」 (前期 17.3%→今期 27.3%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 30.8%→今期 41.8%)
- ・ 「従業員の確保難」 (前期 25.0%→今期 27.3%)
- ・ 「需要の停滞」 (前期 36.5%→今期 20.0%)

となっている。



以上